

## 学校教育について

4月に実施された全国学力・学習状況調査、3回目になりますが、8月末に公表されました。

北海道の状況についてですが、小学校の平均正答率は59・4と、3年連続の全国46番目になりました。中学校の平均正答率は66・3と、昨年全国44番目から42番目とやや上がり、全国平均正答率との差も1・5と大きく縮める結果となりました。

次に新冠町の状況についてであります。が、小学校的国語、算数とも傾向はほぼ全道と同じですが、平均正答率では全道と同じ平均正答率となり昨年より4・1ポイント向上する結果となりました。

次に中学校の結果ですが、国語では、特にB問題につきましては、全国を上回る結果となりましたし、数学では、全道とほぼ同じ結果となりましたので、学力向上の取組が成果を上げたととらえております。

これらの結果を受けて北海道教育委員会として「学力向上対策チーム」を立ち上げる方針を表明していますが、町教委としても、学力の一層の向上を目標に、各学校の取組の強み、弱みを分析し、具体的な取組例として、個に応じた指導等授業の改善・家庭学習への課題の適切な出題・課題の多い児童生徒への対応・保護者との連携強化等を各学校へ提示したところであります。

今年が世界天文年にあたることにちなみ、「天文と親しもう」と題した特別展を郷土資料館と共催で開催しました。期間初日の7月22日には部分日食の観察や、期間中、家庭用のプラネタリウム投影機を使った星空鑑賞会を行うなど、町民の居場所づくりとしての工夫に努めたところであります。

また、プラスワンセミナーとして、口承文学者の小澤俊夫氏を招き、2日間に渡る講演でしたが、両日ともに会場のシアターが満席になるほどの参加がありました。

## 青少年教育に関する取組について

7月14日から10日間の日程で小学1年生を対象としたジュニア水泳教室が開催され、参加者は38名と年々増えており、初步の水泳技術と命の大切さなどの指導ができるものとなりました。プールの開設の最終日である9月6日水泳の記録会や、水球、いかだ競走などを行うスイミングフェスティバルを実施したところです。

## 条例

●新冠町国民健康保険条例の一部を改正する条例

## 地上デジタル放送に関するお知らせ

地上デジタル放送を視聴するための簡易チューナー給付などの支援が10月1日から受付開始されます。

### 1 支援の対象者

日本放送協会（NHK）の放送受信料全額免除世帯等であって、支援の申込み時点において地上デジタルテレビ放送が視聴できていない世帯等を支援対象としています。

- (1) 生活保護などを受けている公的扶助受給世帯
- (2) 障がいを持った方が居る世帯であって、世帯全員が市町村民税の非課税措置を受けている世帯
- (3) 社会福祉事業施設に入所している方であって自らのテレビで視聴されている方

### 2 受けられる支援の内容

現在お持ちのアナログテレビに取り付ける「簡易なチューナー」の無償給付を行います。また、アンテナ工事が必要な場合は無償で工事等を行います。

### 3 申し込みについて

「お問い合わせ先」の「総務省 地デジチューナー支援実施センター」に連絡すると、申込書が送られてきます。送られてきた申込書を記入の上、当センターへ郵送して下さい。

※平成21年度分の受付は平成21年10月1日（木）から平成21年12月28日（月）までです。

（消印有効）

### 4 ご注意いただく点

支援の申し込みには、NHKと放送受信契約を結び、受信料の全額免除の適用を受ける必要があります。対象となる方はお早目に申請をして下さい。

#### 【全額免除される世帯】

- ①次の要件に「全て該当」する世帯です。
    - ◆障がい手帳をもつ方がいる世帯
    - ◆世帯構成員が町民税非課税
  - ②生活保護などの公的扶助を受給している世帯です。
- 申請先：新冠町役場町民福祉課保健福祉グループ（☎ 47・2113）へお問合わせ下さい。

### 5 お問い合わせ先

#### ○地上デジタル放送受信のための支援制度について

総務省 地デジチューナー支援実施センター

電話：0570・033840（FAXは、044・966・8719）

※IP電話などナビダイヤルがつながらない方は 044・969・5425

（平日 9:00～21:00、土・日・祝日 9:00～18:00）

## 学校保健安全委員会の設置について

学校の保健安全については、近年、学校生活においても生活習慣の乱れや心の健康問題、アレルギー疾患、新型インフルエンザ、性の問題行動や薬物乱用、感染症への対応など、個々の学校の取組だけでは解決できない問題が顕在化しております。学校、家庭、地域社会が連携して児童生徒の健康安全づくりに努めることは必要であります。したがって各学校が、家庭や医療機関はじめとする地域の関係機関等との連携・協力のもとに、学校保健安全委員会を設置いたしました。本来は各学校ごとに設置するものですが、学校の負担軽減と共通問題の共有化を図るために、委員会として立上げ、学校支援地域本部の支援を仰ぎながら、緊急を要する新たなインフルエンザ防止等、今後も予定しております。

次に、認定こども園の開設に関し、多数の町民の方々の署名を付した陳情が提出され、内容について代表の方々にご説明申し上げたところではありますが、施設整備に対する要望等もありますので、10月中旬に地域へ出向きました。認定こども園の概要

## 青少年教育に関する取組について

一つ目は8月5・6日に、小学4年生から6年生を対象とした、少年アドベンチャーランドですが、野外体験学習などを目的に、サイクリングキャンプとして自転車で市街地から若園まで往復しました。子ども会指導者と高校生ボランティアとして、新冠山岳会の協力を得ながら実施しましたので、異世代の交流も図ったところです。

二つ目は、青年団体連絡会議が夏休み期間に実施した盆踊り事業に関する取組です。昔ながらの盆踊りを継承する機会として、また、夏休み期間における親子のふれあいの機会を創り出す事業として同連絡会議が主催したもので8月15日に役場駐車場で実施いたしましたが、子ども盆踊

## 認定子ども園開設に向けた取組みについて

や保育料、そして最も重要な育成課程、あるいは通園バスの運行等の関係について説明し、話し合いする予定をしております。

場いたしましたが、柔道男子個人戦55kg級で準優勝しました。また、8月1日に苫小牧市で行われた胆地区吹奏楽コンクールに、新冠中学校吹奏楽部が中学校B編成の部で出場し、平成17年度以来4年ぶりに金賞を受賞し、地道な練習の積み上げと、開かれた部活動体制が良い結果をもたらしたところです。

次にスクールバスの運行につきましては、夏休みの大雨により、若園～太陽間が通行止めになつたため、2学期からの運行路線について学校側と協議を行い、運行路線及び運行時間を一部変更いたしました。子供達の通学については、「安心・安全を最重点において、路線や運行時間を設定して運用しており、今後も冬季間の安全運行に向けて充分配慮して参ります。

「施設建設」に關わる部分につきましては、設計業務委託をプロポーザル方式によるものとして進めて参りましたが、札幌市が「北海道建築設計監理株式会社」に決定し、7月22日に、随意契約による委託契約を締結しております。

現在、開設準備室はもとより、現場を担当する保育士等の意見を聞きながら、設計業務を取り進めているところであります。が、本年中には、おおよその設計を固め、平成22年度当初予算に計上する予定としております。

次に、「保育士の研修」についてであります。認定こども園の開設にあたつては、幼稚園機能が付加されることから、開設までの2年間で、幼稚園教諭としての実践や理論的な研修を実施することとしておりまます。月に1度、定期的に内部研修のほか、様似町立幼稚園での実践研修を行つております。今後は、札幌市立認定こども園での実践研修も予定しております。

次に、認定こども園の開設に関し、多数の町民の方々の署名を付した陳情が提出され、内容について代表の方々にご説明申し上げたところではありますが、施設整備に対する要望等もありますので、10月中旬に地域へ出向きました。認定こども園の概要

「レ・コード館リニューアル記念」の取組として8月9日にNHKによる「どことんふるさとステージ」の公開番組を実施しましたが、町の自慢番組として有意義な事業となりました。

また、レ・コード館の啓発として、9月4日に陸上自衛隊第七音楽隊による吹奏楽コンサートを実施し、およそ300名の来場者に楽しんでいただきました。

レ・コード館リニューアルとして科学工房のパソコン機器6台を更新しましたが、町のICT学習等の一助として、又、情報化社会への健全な対応を推進する施設として充実を図り、多くの活用がされております。今後は館内・ミュージアムの運営や展示の工夫を計画しております。